

黒あるあまが。鴉まで赤の溝も有。今近の手と所をりしも。追
害。殿を一ヶ忽四五百人斬滅され。遠く敵地と遁る。北田
の勇士五百余強は勝田幸てぞ退返す。以海の系ふおてる。船
來。之浦。葛山。飯尾の軍ねい富永義宗の二將をうちれて大ふ警
き。これの自軍の大勢を。憑て恩意をひ軍を。し。射入圍の敗
と取もす。這遭の四列一處を推進せ。次第と守りて蒐る。と。帮
合をぞ推進と。佐久間右馬助。耐坂井右と。表と左衛門古屋
み節。一小余強の軍を。陽小昇て。信令せ。今内勢を。相親ん。也
操よりんと。改名。柴田。池田の後陣と。化る。佐久間森谷古
屋。坂井の四將の手とびと。戦死を。され。後つて一も退る
也。退どと。浦ふれ。交合。今川勢の二万全徳と。人とももりりと
蒐。大陽ちも。政蔵らも。双方とも。小競合。争ひ。果あ。は。と。飯尾
葛山。一軍余強隊伍を。前後二方小領も。若と。操出。鐵田
信廣は。帰城す。鉄田素と浦の一万余騎が。若う。佐久間を向
ふ。信。秀。秀。小義充朝臣。信。秀。富永の。あね。殿を。一室を
坐と。乞と。大少忠と。信。軍小指揮。信。院の。乞。軍相。
等。兩方を。郭す。二人の勇士を。駆せ。そ。敵の。當田。次田
を。速く討捕て。自軍の二將小。信。養す。松井。小角八千人。移
ふ。朝比奈と浦が。援兵を。せよ。まく。船は。素備申す。江間左京。